

伊賀市社会事業協会 2015

2015年9月15日 第31号
発行者
社会福祉法人伊賀市社会事業協会
理事長 赤澤 行宏
〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2
TEL:0595-21-5545
FAX:0595-23-6670
URL <http://www.iga-sjk.or.jp/>

理事長就任のご挨拶

社会福祉法人伊賀市社会事業協会

理事長 赤澤 行宏

去る五月二十六日開催の理事会において、西岡時彦前理事長の任期満了による退任の後継として、第六代目の理事長にご推挙いただき就任いたしました、赤澤行宏です。

私は、平成二十四年の暮れに、当時会長であった森下達也氏と西岡時彦氏からお誘いを受け、当法人に就職させていただいたのですが、伊賀市社会事業協会が今日まで大きく発展してきた歴史の中で、私の前職での関わりもあって、直接、間接に見聞する機会が多くなりました。

三代目理事長であった中森勉氏は、市町村合併後の旧村保育園の多くを当法人に統合されるなど、当法人の黎明期後の、謂わば礎を築かれた方で、多くの恵まれない人々にも慕われ、私とも浅からぬご縁があり、私的に交流させていただきました。

第二の創成期を築かれたのは、四代目理事長の森下氏です。昭和五十九年に就任され、自ら研究・調査して開設にこぎつけた、心身障害児療育保育施設かしのみ園。この施設で行なわれる個別的専門的療育保育と交流・統合保育について、県内のエキスパートが「かしのみ方式」と表現するまで高められたことは、氏の偉大なる功績です。昭和六十三年、工事業者の失火により盲養護老人ホーム梨ノ木園が全焼した際には、職員の優れた誘導と介助により一人の死傷者も出さなかったほか、多方面からの補助を受け、同園の復旧改築工事を翌年に竣工させるなど、この時にも強力なリーダーシップを発揮されました。また、より公共的視点が求められる分野には、進んで取り組むべきとの考え方で、障がい者のデイサービス施設や、他に先駆けて放課後児童クラブの運営にも取り組まれてきました。社会福祉基礎構造改革という福祉の大きな転機を迎えても、介護保険制度の創設では、市場的競争原理と格差容認の雰囲気拡大を憂い、保育制度の見直しにおいては、徹底して市町村の公的責任を守るため、全国を行動されたそう、その孤軍奮闘された結果として、現在も行政、施設、保護者とのトライアングルの関係は維持されています。

森下氏が三重県社会福祉協議会会長に就任されることとなり、平成十七年に西岡氏が次の理事長に就任されました。西岡氏は、三十年に及ぶ協会職員としての経験から、介護保険制度を活用した事業や、地域に貢献できる梨ノ木診療所を移転新築したほか、みどり保育園の改築に取り組み、かしのみ園と共に、障がい児の保護者の就労や負担軽減を図るための日中一時支援事業所ヴェルデを包含し、機能的にも優れた新・みどり保育園を完成させ、また平成二十五年には、中瀬城東保育園の改築に取り組み、十年間に亘り理事長を務められました。

皆様は既にご承知のことかと思いますが、当法人は、太平洋戦争後の混乱がまだ続く昭和二十三年に、民間の有志が相寄って設立されたもので、六十七年の歴史を持つ社会福祉事業団体であり、加えてこれ程スケールの大きなリーダーに指導されてきた当法人の今後を委ねられたことは、誠に身に余る光栄と同時にその責任の重さを改めて感じるところです。

この原稿の校正を行なっている間に、参議院では、安全保障関連法案の審議が再開されました。実は、今国会には、社会福祉法の一部改正案が提出されています。この法案は、アベノミクスの第三の矢とされた成長戦略の一丁目一番地と位置付けられる規制改革実施計画に、介護・保育事業等における経営管理の強化とイコールフットリングが定められたことから、制度改革の検討がスタートした曰くつきのものですが、安全保障関連法案等の余波を受けて審議が随分遅れています。



園庭で遊ぶ子どもたち(曙保育園)

ぶどう狩り
—大きな粒でおいしいな—
古山保育園



△「わーおいしそう!」

当園の近くにお住まいのぶどう生産者のご厚意で、ぶどう狩りをさせていただきました。6月に、子どもたちが絵を描いた袋をぶどうに被せてもらってから2ヵ月。どんなふうになっているのかなとワクワクしながら出かけました。ぶどう畑に着くと、真っ先に自分の袋を探し当て「あった、あった」と大喜びでした。袋をそっとのぞくと、大きなぶどうの房が見えました。「わー大きい、おいしそう」と目を輝かせ、大切に手を添えて採りました。

子どもたちは、採れたてのぶどうを口に頬張り「今まで食べた中で一番おいしい」と満足そうでした。



△うまくすぐえるかな

この法案の眼目は、社会福祉法人制度の改革であり、その中でも注目すべき改正点は、まず、社会福祉法人の地域における公益的な取組みを実施する責務の明確化です。公益的な取組みは、従来からの社会福祉事業のみならず、公益事業への積極的な関わりが期待され、福祉サービスを無料又は低額料金で提供することが求められます。

二つ目は、社会福祉法人の財務規律の強化です。所謂内部留保の明確化と、事業区域の住民等の意見を聴きながら、社会福祉充実計画を策定することが義務付けられます。

三つ目は、理事会、評議員会など経営組織のガバナンスの強化が挙げられます。

いずれにしても社会福祉事業の主たる担い手として我が国の社会福祉を支えてきた法人制度そのものについて、具体的な見直し提起されたことで、私たち社会福祉法人は、大きな転換点に立たされたのだと考えます。

当法人は、設立以来、最も援助を必要とする人々を対象に率先して福祉事業に取り組んできましたが、この制度改革の中で、改めて当法人のあるべき姿について問い直し、地域の様々な課題の中で、当法人だからこそできること、やるべきことに引き続き取り組むとともに、法人の基本理念を大切に継承してまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます、私の就任のご挨拶とさせていただきます。

七夕のつどい

中瀬城東保育園

奈良時代に日本に伝わったと言われている七夕は、牽牛星と織女星の伝説にまつわる、子どもたちにとって夢のある行事です。短冊や飾りを作るなど準備をしていると「お星さん、願いをかなえてくれるかな」「空から見えるかな」と、星空に思いを馳せ、七夕を待ち望んでいました。

当日は、大勢の家族が集まった運動場に、飾り付けした笹を



△年長児遊戯「はっぴーはっぴー」

飾りました。その下で、みんなの願いが叶いますようにと思いを込めて歌を歌ったり遊戯をしました。

お楽しみコーナーの「ヨーヨーつり」「輪投げ」「ポウリング」作ってあそぼう」では家族とのふれあいを楽しみ、みんなの笑顔が溢れた一日になりました。

工場見学

—何ができるのか—

ゆめが丘保育所

ゆめが丘には、住宅地区のほか産業地区がありますが、そこに立地している化粧品^の製造工場を、5歳児が見学しました。子どもたちは、コンピューターで制御された機械が規則正しく動いている様子を、興味深く見て



△初めて見る光景に興味津々の子どもたち

玉ねぎ掘りに行ったよ

三田保育園

三田地区住民自治協議会農業部会の方々にご招待いただき、隣接する三訪^{みわ}小学校1・2年生といっしょに玉ねぎ掘りをしました。小学生が次々と力強く玉ねぎを抜いていく姿を見て、園児も力いっぱい引っ張りました。「よいしょ!!」と力を入れるとスポッと抜け「ヤッター、とれた」「わー、大きい」と、大喜び。大きな玉ねぎを引きずりそうになりながらも、両腕にしっかり抱きかかえて持ち帰りま



△よいしょ、よいしょ、大きな玉ねぎ

ていました。「あっという間に箱に入った」「あの箱見たことある」など楽しげに言葉を交わしていました。

清潔な空間に整然と並ぶ大きな機械が、製品を作り上げていく様子を、不思議そうに見守る子どもたちでした。

世代間交流

—地域の方といっしょに芋づるさし—

友生保育園

友生老人クラブの皆さんとさつま芋のつるさしをしました。はじめに「つるを土の上にねかせて、そっと土をかぶせましょう」と教えていただき、子どもたちは「大きなあれ」「いっぱいおいもができますように」と声を掛けながらつるをさし、土の乾燥を防ぐために枯草を敷きつめました。

お世話をしてくださる老人クラブの皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、秋の収穫を楽しみに待ちたいと思います。



△「おいしいおいもができるといいな」

子どももお年寄りも 満面の笑顔

長田保育園



3・4・5歳児が、毎年当法人が経営する盲養護老人ホーム梨ノ木園を訪問しています。親しくなっているお年寄りとのふれあい遊びやおしゃべりタイムは、笑顔がいっぱいで、ほおずりしたり、頭を撫でてもらったりして大満足の子もたちです。

広告紙を固く丸めて作ったプレゼントの肩たたき棒は、トントンと叩くたびに鈴が鳴ります。さわやかな鈴の音には「肩こりが楽になりますように」と、子どもたちの願いが込められています。

福島県『花ぶさ苑』への介護職員応援派遣を経験して

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園 介護員 千葉悠生

私は、福島県双葉郡広野町にある「特別養護老人ホーム花ぶさ苑」で応援介護職員として勤務させていただきました。広野町は、福島第一原発から30km圏内にあるため、震災2日後には避難指示が出た地域です。現在は廃炉や除染作業等の復興前線基地として、全国から集まった作業員が多く生活しています。

花ぶさ苑は平成24年4月に事業を再開しました。しかし、住み慣れた地域に戻りたいという高齢者の希望が多くある一方で、職員の確保が難しく、入所者を制限しなければならない状況が続いています。介護応援では、身体介護・物品補充・環境整備等の仕事をさせていただきました。職員の皆さんはとてもしっかりと、人材不足など困難な状況が続くなかでも、自分たちができる精一杯のサービスを利用者に提供したいという強い気持ちを感じられました。私たちの施設でも見習うべきところが多くあり、仕事を通じて様々なことを学ばせていただくことができました。



下宿先周辺は復興が進んでいる印象を受けたのですが、通勤時に走る海沿いの道には『東日本大震災津波浸水区間』という看板、津波によって家屋が流



され基礎だけが残っているといった光景が広がっていました。

被災地の現状をもっと自分の目で確認したいと思い、休日を利用して太平洋沿岸の浜通りを縦断する国道6号を車で北上しました。歩行者や二輪車での通行が規制されている区間があり、これは現在も放射線量の高い地域があることを意味します。避難区域の住宅前にはバリケードがあり、街へと向かう交差点には警察官が立っていて住民以外の立ち入りが制限されている所もありました。

施設の職員さんからも、様々な話を聞かせていただきました。一時帰宅の許可がおりても、在宅できる時間に制限があり、時間を過ぎると警察官や見回りの方が巡回に来るためゆっくりできないこと。家は震災当時のままで手が付けられない状態であること。野生動物が増え、田畑や住宅街を荒らすことなど、今なお大変な思いをされている現状を知り、多くの人にこの実状を伝えなくてはいけないと思いました。

最後になりましたが、笑顔で迎えていただきお世話になった福島県の皆様、快く送り出してくれた職場の仲間から感謝します。そして、今回の体験で学んだことを今後の仕事に活かして頑張りたいと思います。



△みんなの健康を願って

作りデザートが付いた、日曜特別メニューを味わっていただきます。ちよっとお得な『日曜デイ』をぜひご利用ください。

昼食には、手頃なデザートが付いた、日曜特別メニューを味わっていただきます。ちよっとお得な『日曜デイ』をぜひご利用ください。

この日、Nさんは数年ぶりに筆ペンを取り「上手に書けるかな」と、ご家族の健康を願って七夕の短冊を書きあげられました。また、お風呂が大好きなTさんは、リハビリを兼ねてチェアー浴にチャレンジされました。「座って入ると気持ちええわ」と、それ以来チェアー浴での入浴が可能となり、Tさんも職員もとても喜んでいきます。

老人デイサービスセンター なしのき

始まりました、
なしのき日曜デイ



神の山で心清らかに

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

奈良県桜井市にある、日本最古の神社である大神神社^{おみわじんじや}へお参りに行きました。

神職様より神社の歴史についてお話を聞いた後、健康を願って御祈禱をしていただきました。神社の歴史に触れたことで、御神体である三輪山がより大きく感じられ、木々に囲まれた境内の静けさと、全身で感じる厳かな雰囲気「背筋が伸びる



△御神木を見上げて



△拝殿の前で記念撮影

し、心が落ち着くわ」と、大きく深呼吸されていました。
 日常とは違う風と音を感じ「晴れた日にこんな立派な神社にお参りに来られて良かったわ」と、笑顔で話されていました。

いただきまーす

『食欲の秋と、秋の味覚』

昔から「食欲の秋」と言われていますが、なぜ秋になると食欲が増すのでしょうか？理由としては主に次の3つがあげられます。

- ① 夏バテした体の回復のため
- ② 数多くの食物が実り「旬」を迎えるため
- ③ 冬に備え栄養分を取り込もうとするため

この「食欲の秋」に欠かせない秋の味覚を紹介します。

さんま……………血液をサラサラにするEPAや脳の働きを活性化させるDHAが豊富に含まれているため、生活習慣病予防によいとされる。

さつまいも…食物繊維やビタミンC、Eが豊富で消化器系の働きを高め胃腸を丈夫にする。

きのこ類……食物繊維が豊富で低カロリー。便秘改善や血中コレステロール値の低下に効果がある。

食欲の秋といっても食べすぎると体によくありません。適度にバランスのよい食事を心がけましょう。
 (梨ノ木園 栄養士)

ゆるり散策

～足湯に行きました～

身体障害者支援施設 梨丘園



モクモク手づくりファームにある足湯に行きました。初めて足湯を体験されたご利用者もいて「気持ちええわ」と、とても喜ばれていました。

足湯でリラックスした後は、喫茶店で冷



△足湯でリフレッシュ

たいコーヒーとケーキを楽しみました。天気も良く、テラス席で話をしながら、ゆったりとした午後のひとときを過ごすことができました。ご利用者から「またここに来たいな」との声もあり、心身ともにリフレッシュすることができました。

公共図書館(室)との 合同研修会を開催しました

上野点字図書館



△合同研修会の様子

障がいの有無に関わらず、お互いを尊重し、共生する社会の実現を目的とした「障害者差別解消法」が、来年4月に施行されます。

これを受け、伊賀市内の公共図書館(室)と当館が連携・協力して提供できる、新たなサービスについて考える研修会を開催しました。

研修会では、点字が読めない中途視覚障がい者の増加に伴ない利用が伸びている、デージー図書(耳で聞く図書)の紹介をしました。デージー図書は、視覚障がい者だけでなく、高齢で寝たきりの状態にある方、手に障がいや一時的なケガを負って、自分でページを繰ることができない方などにも利用していただける図書です。

今後も合同研修会を重ね、より多くの皆さまに、読書の喜びを提供するお手伝いができればと考えています。

感覚刺激を通して

かしの木ひろば

エアートランポリンで揺れを感じたり、セラピーボールでバランス感覚を養ったり、ボールプールに埋もれて肌に触れるボールの感触を味わったりして、触感や平衡感覚を刺激する活動をしています。

みんなでワイワイとにぎやかに楽しむことで、感覚刺激により心身の活性化が図られます。最初は、ボールプールに入れなかった方も、何度か経験するうちに足を入れられるようになり、次には中に座れるようになり、今ではボールプールの中に横たわることも出来るようになりました。

今までとは違った感覚体験をすることで、活動範囲の広がりにつながっています。



△「ボールプールは楽しいなあ」

外出が楽しみ

かしの木ひろば



△「うん、これを買おう」

外出が少なかった視覚障がい者のHさんは、娘さんの勧めもあり、昨年から同行援護の利用を開始されました。

外出時には、当施設の福祉有償運送サービスも併せて利用され、買い物や外食を楽しまれています。「暑い時期に汗をかきながら食べるラーメンはうまい」と、好物を堪能するなど、以前に比べて外出の機会が多くなりました。

次の外出先について、インターネット電話で知り合った全国の友人から情報収集をし、同行するヘルパーと相談をしている時は、とても会話が弾みます。

新たな仕事に挑戦しています

かしの木ひろば

就労継続支援B型事業所では、従来の百円均一商品の組立作業やお墓掃除に加え、自動車部品をかしめる仕事を始めました。

小さい円盤状のゴムと金属にハトメを通し、機械でかしめる作業です。この仕事の工程は、セット担当と操作担当に分かれ、みんなが作業に関わることができるので、生産はスムーズに進みます。仕上がった部品は、海外の自動車にも使用されるとのことで、ワクワクし、俄然やる気が出てきます。

良い部品が作れるよう、みんなで丁寧にがんばっていきます。



△慎重にハンドルを回します

◆ご支援ご協力いただいている方々◆

(平成 27 年 2 月～平成 27 年 8 月)

個人 — 敬称略・五十音順 —

井岡 昭 稲森きぬ子 稲森千鶴子 稲森 康郎
 稲森 律子 上田真美子 岡田 勝美 岡森眞理子
 奥田 英夫 奥田やえ子 奥田 進一 尾崎 智子
 貝増 恒子 勝 真由美 門田 良一 柳 倫子
 河田 昭子 北泉 優子 北出 樞夫 木下真砂子
 葛岡エミ子 権蛇 忠喜 澤木 敦子 清水 栄子
 清水みどり 角田 宗成 角田 充代 高島 真哉
 竹島 和美 田中 初子 津田 美恵 豊田 敏子
 田山紗知子 塚本 初子 長谷 優樹 中野 崇
 豊田 實 中川 定子 長谷 優樹 中野 崇
 中村 節子 中村 信通 中森 洋子 中矢 英夫
 中村 洋美 西田 誠 西出 成子 福田 定子
 藤井 充子 藤田 修三 藤永 清信 藤林 政代
 藤森 直美 古川 節郎 古川美智代 前川 悟
 松井 謙一 松田 雅子 水野 文子 宮田 琴代
 百北富美子 百北 幸雄 森 喜良 森 令子
 森岡 佑子 森下 弘子 森田 満枝 森中 一美
 矢口千又代 山口 義美 山下 吉男 山本 富子
 山本 濱子

団体 — 敬称略・順不同 —

上野点字歌奉仕グループあい、上野音訳グループしほび、
 名張点字グループあかり、名張音訳グループこたま、
 上野点字図書館朗読ボランティア、
 ボランティアグループミックスジュース、
 上野手をつなぐ育成会、絵手紙いろは、
 薫本ホール「語り部塾」、伊賀FCく、
 伊賀市視覚障害者福祉会、伊賀市更生保護女性の会、
 伊賀市聴覚障害者福祉会、伊賀市権利擁護協議会、
 伊賀地区交通安全協会、上野東ロータリークラブ、
 伊賀市 南山城村、伊賀警察署、伊賀つばき学園、
 伊賀白鳳高等学校、大滝地区、桂地区、白檀地区、
 朝屋地区、治田地区、予野地区、伊賀市主任児童委員会、
 伊賀市民生委員児童委員連合会、
 上野徳福町老人クラブ、上野福居町老人クラブ、
 大野木環境保全会、小田地区市民センター、
 小田町住民自治協議会、神戸老人クラブ連合会女性部、
 寺町老人会、東部地区民生委員児童委員協議会、
 友生地区住民自治協議会、友生老人クラブ、
 中瀬老人クラブ連合会、丸山地区民生委員、
 三田地区住民自治協議会、
 ゆめが丘地区民生委員児童委員、保育園保護者会、
 安立寺、田守神社、平井神社、コーカ共同製茶、
 グリーンティール高尾、田山第一共同製茶工場、
 田山南部共同製茶組合、伊賀北部農業協同組合、
 岡三アセットマネジメント、小川整備、
 オートセッターモリ、割烹志摩、北伊勢上野信用金庫、
 サンピア伊賀、西尾デンキ、日本フライン、またた、
 ミルボン、ローテ製菓

職場体験実習生を受け入れ 伊賀市盲人ホーム



三重県立盲学校高等部
 専攻科保健医療科に在籍
 する生徒の職場体験実習
 を受け入れました。

△指導を受ける実習生
 当日は、治療道具の名
 称や使い方、患者様との
 コミュニケーションの取り方などを中心に指導を行な
 い、実習生は熱心に取り組まれました。

実習で学んだことを、ぜひ今後活かしてほしいと
 思います。

ロータ製薬株式会社“かるがも基金”より ご寄付をいただきました 上野点字図書館

本年度も、ロータ製薬株式会社“かるがも基金”よりご寄付を
 いただきました。今回は、体験用機器として携帯型拡大読書器、
 蔵書として落語CD『桂三枝大全集』『志ん朝初出し』『枝雀の十
 八番』のシリーズを購入さ
 せていただきました。当館
 を利用する多くの皆さまに
 活用していただけるよう、
 広く周知を図っています。



～ 平成26年度 当法人の決算諸表 (法人全体) ～

資金収支計算書

勘定科目	決算額(千円)
介護保険事業収入	376,762
老人福祉事業収入	192,641
保育事業収入	1,306,580
就労支援事業収入	37
障害福祉サービス等事業収入	227,921
医療事業収入	16,336
その他の事業収入	47,954
経常経費寄附金収入	6,313
受取利息配当金収入	154
その他の収入	25,693
事業活動収入計	2,200,391
人件費支出	1,622,073
事業費支出	326,808
事務費支出	179,133
利用者負担軽減額	327
支払利息支出	213
流動資産評価益等による資金増加額	4
事業活動支出計	2,128,558
【事業活動資金収支差額】	71,833
施設整備等補助金収入	20,236
固定資産売却収入	432
施設整備等収入計	20,668
設備資金借入金元金償還支出	3,504
固定資産取得支出	70,653
施設整備等支出計	74,157
【施設整備等資金収支差額】	- 53,489
積立資産取崩収入	37,950
その他の活動収入計	37,950
積立資産支出	42,530
その他の活動支出計	42,530
【その他の活動資金収支差額】	- 4,580
<当期資金収支差額合計>	13,764
【前期末支払資金残高】	359,311
【当期末支払資金残高】	373,075

事業活動計算書

勘定科目	決算額(千円)
介護保険事業収入	376,762
老人福祉事業収入	192,641
保育事業収入	1,306,580
就労支援事業収入	37
障害福祉サービス等事業収入	227,921
医療事業収入	16,336
その他の事業収入	47,954
経常経費寄附金収入	6,313
その他の収益	65
サービス活動収益計	2,174,609
人件費	1,608,536
事業費	326,808
事務費	179,133
利用者負担軽減額	327
減価償却費	144,749
国庫補助金等積立金取崩額	- 83,029
徴収不能額	4
退職給付引当金繰入	14,487
サービス活動費用計	2,191,015
【サービス活動増減差額】	- 16,406
受取利息配当金収益	154
その他のサービス活動外収益	25,627
サービス活動外収益計	25,781
支払利息	213
サービス活動外費用計	213
【サービス活動外増減差額】	25,568
【経常増減差額】	9,162
施設整備等補助金収益	20,236
過年度修正益	187
特別収益計	20,423
固定資産売却損・処分損	15
国庫補助特別積立金積立額	14,620
特別費用計	14,635
【特別増減差額】	5,788
【当期活動増減差額】	14,950
前期繰越活動増減差額	951,411
【当期末繰越活動増減差額】	966,361
その他の積立金取崩額	37,951
その他の積立金積立額	42,530
【次期繰越活動増減差額】	961,782

貸借対照表

勘定科目	決算額(千円)
流動資産	476,389
現金預金	197,371
事業未収金	125,974
未取補助金	150,850
前払金	1,924
仮払金	270
固定資産	3,276,496
固定資産(基本財産)	2,188,010
建物	1,985,604
土地	202,406
固定資産(その他の固定資産)	1,088,486
建物	17
構築物	29,605
機械及び装置	10,168
車輛運搬具	8,050
器具及び備品	104,776
権利金	898
ソフトウェア	8,481
投資有価証券	10
退職給付引当資産	151,803
差入保証金	140
建設積立資産	116,000
償還積立資産	5,000
人件費積立資産	134,943
修繕積立資産	282,290
備品等購入積立資産	87,956
保育所施設・設備整備積立資産	87,349
その他の積立資産	61,000
資産の部合計	3,752,885
流動負債	198,388
1年内返済設備資金借入金	3,504
事業未払金	98,846
預り金	141
職員預り金	4,319
仮受金	8
貸付引当金	91,570
固定負債	157,895
設備資金借入金	6,092
退職給付引当金	151,803
負債の部合計	356,283
純資産の部	1,111,313
基本金	1,111,313
国庫補助金等特別積立金	1,548,968
その他の積立金	774,539
次期繰越活動増減差額	961,782
(うち当期活動増減差額)	14,950
純資産の部合計	3,396,602
負債及び純資産の部合計	3,752,885

当法人では平成26年度より新会計基準に移りました。会報誌では紙面の都合上法人全体の財務諸表のみを掲載してありますが、事業区分の内訳や、財務諸表に対する注記等は、当法人のホームページに掲載しております。ホームページのトップ画面に情報公開のバナーがありますので、クリックしてご覧ください。また、各施設にも平成26年度の決算書を備えてありますので、職員にお申し出ください。

～心身障がい児者ボランティア講座のご案内～

平成27年度心身障がい児者ボランティア講座を開講しています。希望の講座を選んで受講していただくことも可能です。

障がい児者の支援活動に関心をお持ちの方、ぜひお申し込みください。

(今後の予定)【時間】午前10時～12時【会場】かしの木ひろばほか

日程	内容
9月22日(祝火)	見学・ボランティア体験 かしの木ひろば
23日(祝水)	見学・ボランティア体験 梨丘園
30日(祝)	見学・ボランティア体験 かしのみ園
10月31日(土)	講演・実技「アイマスクを使って歩いてみよう」
11月28日(土)	講演・実技「聴覚障がい者の情報について」
1月23日(土)	講演・実技 「こころ・体のためのホリスティック・ケアタッチングタッチ」
2月下旬	閉講式 座談会 ボランティア講座を終えて

【お問い合わせ・お申し込み先】

かしの木ひろば 伊賀市上野寺町1184-2 TEL・FAX 0595-21-2745

日盲社協奉仕者表彰受賞 おめでとうございます

日本盲人社会福祉施設協議会主催の第63回全国盲人福祉施設大会において、上野点字図書館の点訳ボランティア中村登美子さんと、音訳ボランティア滝田時子さん、梨ノ木園俳句クラブ講師の藤井充子さんが奉仕者表彰を受賞されました。

皆様には心からお祝いを申し上げますとともに、多年のご奉仕に深く感謝申し上げます。



△俳句クラブ講師
藤井充子さん



△音訳ボランティア △点訳ボランティア
滝田時子さん 中村登美子さん

新任職員の紹介

新任職員の決意と希望に満ちた声です。それぞれの施設で、直向きに奮闘する若者を、よろしく願いいたします。

笑顔を決やさず一人ひとりの気持ちを大切に
する保育士を目指します。

【曙保育園】A・E

小さなことにも誠心誠意取り組み、笑顔が絶
えない毎日にしたいです。

【曙保育園】Y・A

毎日健康、毎日笑顔で、子どもと共に日々成
長していきたいです。

【睦保育園】T・A

子どもの気持ちに寄り添い、誰からも
信頼されるよう頑張ります。

【睦保育園】H・C

子どもの気持ちに寄り添える保育士に
なりたと思います。

【中瀬城東保育園】A・M

子ども達の笑顔がたくさん引き出せる
保育士になりたいです。

【中瀬城東保育園】W・M

子どもの様子をよく見守り、心と体の
変化に気付ける保育士になりたいです。

【長田保育園】U・A

日々努力を積み重ね、子どもと一緒に成長し
ていきたいです。

【みどり保育園】M・A

いつも笑顔を忘れずに、何事も一生懸命に取
り組んでいきたいです。

【みどり保育園】N・C

頼りにされ、毎日笑顔で子ども達と一緒に成
長していきたいです。

【ひかり保育園】S・Y

笑顔を決やさず、子どもに親しみをもっても
らえる保育士を目指します。

【ひかり保育園】Y・S

日々笑顔を忘れず、充実した毎日を送れるよ
う努めていきたいです。

【みどり第二保育園】N・M

子ども達と共に、自分も成長していくよう資
質向上に努めます。

【みどり第二保育園】M・S

子ども達が楽しみにしてくれる、おい
しい給食を作りたいです。

【みどり第二保育園】N・H

明るく元気に笑顔で前向きに利用者と
関わりながら日々頑張ります。

【梨ノ木園】I・F

「感謝」「初心」を忘れずに、仕事に取
り組んでいきたいです。

【梨ノ木園】N・K

人に喜ばれる仕事を、続けていきたい
と思っています。

【第二梨ノ木園】H・M



書店などで本のタイト
ルや帯に書かれたキャッ
チコピーを見て、思わず
手が伸びてしまう時があ
ります。最近では世界の名
言や格言を集めた本も多
く出版されており、言葉
が人に元氣や癒しを与え
てくれることが窺えます。
少し時期外れな話題に
なりますが、私の通った
小学校の卒業式では、毎
年「卒業式の歌」という
歌がうたわれていました。
この歌は、「1953年
生」「45年生」「卒業
生」「父母」「先生」のパー
トをオペレッタ形式でう
たう、15分近くにもなる
ものです。その中の「先
生」の歌詞がとても印象
深く、今でも心に残って
います。

君たちよ 光は空に満
ちている 翼をそらえて
胸はって

君たちよ 先生はいつ
も見つめてる はぐくみ
育てた 君たちの

先生方の慈愛に満ちた
表情と歌に、卒業するさ
みしさよりも大きな幸福
感を感じる事ができま
した。以来数十年、この
歌詞を心の中で口ずさむ
たびに、褪せることのな
い感動と明日への氣力が
湧いてきます。

さて会報31号も、皆様
のご支援ご協力を賜わり
発行することができま
した。心から感謝を申し
上げます。(編集者N)

編集後記